

提 言 書

平成24年 1月26日

栗山町まちづくり100人委員会

栗山町まちづくり100人委員会提言書

1. テーマ

震災への備えの具体化と防災意識の発揚に向けた取り組みの推進

2. 現状（課題・問題点など）

平成23年3月11日、東北地方を襲った未曾有の大震災は、想定外とされた原発施設をも破壊し、多くの方々の生命と財産を奪い、あらゆる産業活動を危機に追い込みました。

私達は、この大震災を通して、地域における日頃からの震災への備えと、防災意識を高いレベルで維持することが大切であることを学びました。

3・11以降、道内自治体では防災に関する取り組みが強化され、栗山町においても多くの町民の参加を得ながら防災に関する事業が開催されています。

まちづくり100人委員会は昨年より地域防災のあり方に関する協議を重ね、地域防災に関わる町内の現状（課題・問題点など）を以下のように整理しました。

- (1) 避難所や広域避難場所の指定状況と案内表示に関し、その絶対数の不足と指定場所への案内表示が不十分である。
- (2) 町民への防災情報の周知に関し、防災マップの作り方を工夫することや、非常時の速やかな情報伝達手段を整備することなど、早急な対応を必要とする課題への取り組みが不十分である。
- (3) 要援護者（身体に障がいを持つ方、高齢者、妊婦、乳幼児が居る家族など）の実態を把握し、その結果に基づいた対策の具体化と、関係する各種団体との役割分担や連携に向けた取り組みが不十分である。
- (4) 防災意識の向上に向けた取り組みの継続と、災害発生時に居た場所（自宅、街頭、職場、学校など公共施設、交通機関など）や災害発生時の季節に対応した、きめ細かな防災マニュアルの策定が遅れている。
- (5) 防災に関わる予算の実情と今後必要となる費用の整理、年次計画の策定とその財源の確保などに関する考え方が提示されていない。
- (6) 夕張川とその水系における防災上の問題点の整理と、今後の防災に向けた整備の方向性が提示されていない。

以上のような防災に関する現状認識に立ち、行政と町民が何をなすべきかを考え、以下のような提言をまとめました。

3. 提言内容

(1) 避難所や広域避難場所に関すること

①避難所の不足が考えられるので、公的施設に拘らず、民間の企業や団体との震災時における施設利用に関する連携協定の締結を進めるべき。その候補として、以下の施設などが考えられる。

お寺や教会、ホテル、JAの施設、自動車学校、旧NTT、コカ・コーラ環境ハウス、雇用促進住宅など

②避難所や広域避難場所の表示と、その地点への案内表示を見やすいものに工夫し、町民が日常的に目に触れ、その存在を意識できるようにする。

(2) 防災情報の周知に関すること

①洪水・地震マップはルーズリーフ式の印刷物とし、各町内会などの単位で見開き状態で印刷することで、そのまま壁などに掛けておき日常的に目に止まるようにする。また、「我が家の防災計画」として各家庭で自由に記入できる欄を設ける。

②災害が発生する可能性を広く伝達する手法（サイレンの増設、街頭放送など）、被災中の情報伝達の方法を複数準備する。

(3) 要援護者への対応のあり方に関すること

①要援護者の実態を全町的に把握し、その実態に対応した援護態勢を準備するとともに、要援護者向けの避難所や広域避難場所のあり方を検討する。

②社会福祉協議会、福祉団体、社会福祉施設などとの役割分担や連携に関する必要な取り決めを行う。

(4) 防災意識の向上と防災マニュアルの策定に関すること

①まちづくり協議会を中心に推進している防災訓練などを定着させる。

②災害発生時に居た場所や季節に対応した防災マニュアルを策定し、小・中・高校における防災学習を行うとともに、他自治体が設置している防災体験施設などを活用した実効のある取り組みを行う。

(5) 防災に関わる予算に関すること

①防災に必要な施設・備品・消耗品などのリストを作成し、それに要する費用の負担区分（行政、町民、双方など）を明らかにすることで、全町的な取り組みを進める。

(6) 夕張川などの防災上の問題点に関すること

①関係機関に、川端ダムの土砂堆積による機能性低下の改善を要請する。

②中小河川の防災対策上の改修計画の全体像を示す。

4. 具体的推進の方策

(1) 行政がなすべきこと

- ①提言内容を検討し、既に取り組みを進めている部分は更に強化し、新たに必要な部分や改善すべき部分はその実施を具体化すること。
- ②町内における防災上の障害になりそうな場所を定期的に調査し、対策を講じること。

(2) 町民がなすべきこと

- ①防災に関する事業に積極的に参加し、防災に関する意識を向上させ、家庭ですぐ出来ることから取り組むこと。
- ②我が家の防災計画を話し合い、家庭内での役割分担を確認し合うとともに、災害発生時に居た場所に応じた連絡体制などを決めておくこと。
- ③身近な生活環境で、防災上の障害になりそうな場所を点検し、その改善を提案すること。